

岩手競馬の発売実績等について

平成30年11月26日
財 政 部

1 平成30年度第10回盛岡競馬まで（通算第16回 4/1～11/5 96日間）の発売成績等
(1) 発売額の計画達成状況等

(単位：百万円，%)

区 分	岩手競馬発売額				広域受託 発売額
	自場発売	広域委託発売	インター ネット発売	計	
計画額 (a)	5,401	3,238	16,192	24,831	3,794
実績額 (b)	5,474	3,525	18,313	27,312	3,839
差額 (b-a)	73	287	2,121	2,481	45
達成率	101.3	108.9	113.1	110.0	101.2

(2) 発売額・入場者数の前年度比較

(単位：百万円，%)

区 分	発 売 額			
	平成30年度	平成29年度	前年度比	
自 場 発 売	水沢競馬場	1,426	1,522	93.7
	盛岡競馬場	1,306	1,342	97.3
	宮古場外	157	179	87.7
	種市場外	314	339	92.6
	安代場外	193	185	104.8
	大通場外	144	137	105.2
	釜石場外	261	277	94.3
	県内施設・計 (a)	3,801	3,981	95.5
	横手場外	389	387	100.6
	山本場外	182	193	94.1
	三本木場外	713	838	85.1
	十和田場外	187	211	88.7
	つがる場外	44	46	94.5
	東京場外	79	80	98.7
	秋田場外	79	83	95.4
	県外施設・計 (b)	1,673	1,838	91.0
	計 (a+b)	5,474	5,819	94.1
	広域委託発売	3,525	3,473	101.5
	インターネット発売	18,313	14,001	130.8
合 計	27,312	23,293	117.3	
開催本場入場者数	193,392人	193,761人	99.8	

- 注1 平成29年度については、同じ延べ日数に当たる開催日までの実績である。
 注2 開催本場入場者数は、競馬開催場における入場者数である。
 注3 達成率及び前年度比は、円単位の金額で算出している。
 注4 端数調整等により、計数に異同が生ずる場合がある。

2 平成30年度の収支見通し（第2期終了時点）

- ・見通し額は、第2期までを実績額とし、第3期から第5期までを当初計画額どおりとしている。
- ・岩手競馬発売収入の見通し額の合計は、当初計画額から11億7,800万円の増となっている。
- ・払戻金等の売上原価の見通し額の合計は、当初計画額から10億7,100万円の増となっている。
- ・損益見通し額は、1億3,500万円の利益を見込み、当初計画額から1億1,500万円の増となっている。

（単位：百万円，％）

区 分	当 初 計 画 額 (ア)	見 通 し 額							増減額 増減割合 (イ-ア) (イ/ア*100)	
		【第1～2期】 4/1～8/15			【第3～5期】 8/16～3/31			合 計 (イ)		
		計画額	実績額	増減額 増減割合	計画額	実績 見込額	増減額 増減割合			
岩手競馬 発売収入	自場発売	7,195	3,473	3,480	7	3,722	3,722	0	7,202	7
	広域委託 発売	4,088	2,109	2,248	139	1,979	1,979	0	4,227	139
	インター ネット 発売	19,664	10,120	11,152	1,032	9,544	9,544	0	20,696	1,032
	計 (A)	30,947	15,702	16,880	1,178	15,245	15,245	0	32,125	1,178
				107.5			100.0			103.8
その他収入 (B)	1,667	578	581	3	1,089	1,089	0	1,670	3	
				100.5			100.0			100.2
収入合計 (C= A+B)	32,614	16,280	17,461	1,181	16,334	16,334	0	33,795	1,181	
				107.3			100.0			103.6
売上原価 (D)	26,256	13,299	14,370	1,071	12,957	12,957	0	27,327	1,071	
				108.1			100.0			104.1
総利益 (E= C-D)	6,358	2,981	3,091	110	3,377	3,377	0	6,468	110	
				103.7			100.0			101.7
販売費及び 管理費 (F)	6,321	2,968	2,963	△5	3,353	3,353	0	6,316	△5	
				99.8			100.0			99.9
営業損益 (G= E-F)	37	13	128	115	24	24	0	152	115	
営業外費用 (支払利息) (H)	4	2	2	0	2	2	0	4	0	
経常損益 (I= G-H)	33	11	126	115	22	22	0	148	115	
特別 損益	特別利益 (J)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別損失 (K)	13	0	0	0	13	13	0	13	0
損益 (L= I+J-K)	20	11	126	115	9	9	0	135	115	

注1 平成30年9月18日に開催された第3回岩手県競馬組合運営協議会の資料により作成した。

注2 増減割合は、百万円単位の金額で算出している。

注3 端数調整等により、計数に異同が生ずる場合がある。

3 平成29年度収支決算の状況

- ・平成29年4月1日から平成30年3月26日まで、「22開催・127日間」実施した。
- ・経営体質の強化、情報の発信などに取り組み、馬資源と発売額の確保に努めた。
- ・発売額は294億7,100万円となり、将来負担に備えた基金への積み立てを行ったうえで7,000万円の当期利益を確保した。

(単位：百万円、%)

区 分	平成28年度 決算額 (ア)	平成29年度			
		決算額 (イ)	増減額 (イ-ア)	増減割合 (イ/ア*100)	
発岩 売手 収競 入馬	自場発売	8,446	7,703	△ 743	91.2
	広域委託発売	7,040	9,014	1,974	128.0
	インターネット 発売	10,963	12,754	1,791	116.3
	計 (A)	26,449	29,471	3,022	111.4
その他収入 (B)	1,753	1,907	154	108.8	
収入合計 (C= A+B)	28,202	31,378	3,176	111.3	
売上原価 (D)	22,149	24,945	2,796	112.6	
総利益 (E= C-D)	6,053	6,433	380	106.3	
販売費及び 管理費 (F)	5,768	6,344	576	110.0	
営業損益 (G= E-F)	285	89	△ 196	31.2	
営業外費用 (支払利息) (H)	17	3	△ 14	17.6	
経常損益 (I= G-H)	268	86	△ 182	32.1	
特別 損益	特別利益 (J)	171	131	△ 40	76.6
	特別損失 (K)	187	147	△ 40	78.6
損益 (L= I+J-K)	252	70	△ 182	27.8	

注1 平成30年11月16日開催の第17回岩手県競馬組合議会定例会資料により作成した。

2 増減割合は、百万円単位の金額で算出している。

(参考) 新しい岩手県競馬組合改革計画における元金返済ルール

- 最終利益（純利益）が、
 - ・ 1億円以下の場合 → 全額を競馬組合の運営資金として内部留保する。
 - ・ 1億円を超え5億円以下の場合 → 1億円を超える額の2分の1を構成団体に返済する。
 - ・ 5億円を超える場合 → 前記に加え、5億円を超える額の全額を構成団体に返済する。

4 岩手競馬における禁止薬物陽性馬の発生について

県競馬組合では、禁止薬物陽性馬の発生に伴い、9月22日、11月10日から11月12日まで及び11月17日から11月19日までの計7日間の開催を取り止めたが、その後、監視・警備体制等の強化、水沢競馬場在厩馬の出走予定馬の全頭検査などにより、公正な競馬を開催できる体制が整ったと判断し、11月24日から競馬を再開したところである。

県競馬組合における禁止薬物陽性馬の発生に係る対応等の概要は、次のとおり。

1 経過等

(1) 禁止薬物陽性馬の発生状況

	レースの 施行日	開催場	馬名	級	成績	所属厩舎	検出された 禁止薬物名
1	7/29(日)	盛岡	スターズレディ号 (牝馬5歳)	C2	2着/9頭	三野宮厩舎 (水沢競馬場)	ボルデノン
2	9/10(月)	水沢	ウバトーバン号 (牝馬4歳)	C1	2着/10頭	高橋厩舎 (水沢競馬場)	ボルデノン
3	10/28(日)	盛岡	ヒナクイックワン号 (牡馬3歳)	C2	1着/10頭	高橋厩舎 (水沢競馬場)	ボルデノン

※1 レース後に検体を採取するのは、通常は1着馬と2着馬の2頭である。

※2 競走馬の薬物の検査は、栃木県にある公益財団法人競走馬理化学研究所において行われている。

(2) 経過

- 7月29日(日) スターズレディ号がレースに出走(レース後に検体採取)
- 8月4日(土) スターズレディ号が禁止薬物陽性(1頭目)
- 8月8日(水) 三野宮厩舎の管理馬を検査※した結果、ス号を含め全頭陰性(検体採取は5日)
※禁止薬物陽性馬が発生した場合に行う国のガイドラインに基づく検査(以下、※同)
- 9月10日(月) ウバトーバン号がレースに出走(レース後に検体採取)
- 9月15日(土) ウバトーバン号が禁止薬物陽性(2頭目)
- 9月19日(水) 高橋厩舎の管理馬を検査※した結果、ウ号を含め全頭陰性(検体採取は16日)
- 9月20日(木) 岩手競馬の厩舎に入厩している競走馬の全頭検査の実施と9月22日(土)の開催取
止めを発表(3)の(1)で説明)
- 9月22日(土) 23日の出走予定馬2頭について、検体の輸送漏れにより当日の競走から除外
- 9月27日(木) 岩手県競馬組合議会臨時会を招集(再発防止策に係る補正予算等を審議)
- 10月5日(金) 第1回岩手競馬禁止薬物陽性馬再発防止対策チーム会議
- 10月7日(日) 717頭の検査が終了し、全頭陰性(以後は、転入馬、新馬等を対象に検査を実施)
- 10月16日(火) 第2回岩手競馬禁止薬物陽性馬再発防止対策チーム会議
- 10月28日(日) ヒナクイックワン号がレースに出走(レース後に検体採取)
- 11月5日(月) ヒナクイックワン号が禁止薬物陽性(3頭目)

- 11月7日(水) 11月10日(土)から11月12日(月)までの開催取止めを発表 [3]の(2)で説明
- 11月9日(金) 第3回岩手競馬禁止薬物陽性馬再発防止対策チーム会議
- 11月12日(月) 高橋厩舎の管理馬を検査※した結果、ヒ号が陽性となったほか、他の1頭(ワンサイドストーリー号(セン馬6歳))からもボルデノンの陽性反応を確認(検体の採取は6日)
- 11月13日(火) 11月17日(土)から11月19日(月)までの開催取止めを発表 [3]の(3)で説明
- 11月16日(金) 岩手県競馬組合議会定例会を招集(執行部報告)
- 11月21日(水) 11月24日(土)からの競馬再開を発表 [6]で説明

2 これまで(1頭目及び2頭目発生後)の主な再発防止対策

(1) 全厩舎の緊急立入検査

8月9日(木)、全厩舎(37厩舎)の緊急立入検査を行い、厩舎内の薬品等の管理状況や飲食、喫煙等の処置状況等について検査した。

(2) 陽性馬発生厩舎及び全厩舎関係者からの事情聴取等

8月9日(木)から10月26日(金)までの間、当該厩舎の調教師、厩務員及び担当獣医師から、事情聴取を実施した。

また、9月20日(木)から10月13日(土)までの間に、全ての厩関係者(調教師、騎手及び厩務員)を対象に、地方競馬全国協会及び全国公営競馬主催者協議会の職員の協力を得て、事情聴取を実施した。

(3) 全頭を対象とした事前検査

9月18日(火)時点の在厩馬全頭を対象に、10月8日(月)までの出走予定馬全頭の検査を行い陰性となった競走馬のみ出走させることとして取り進め、退厩馬等を除き、717頭の検査を実施し、全頭が陰性であった。

なお、10月13日(土)以降のレースについては、転入馬、新馬等を対象に、同様の事前検査を実施することとし、随時、検査を実施しているところであり、これまで全頭が陰性である。

(4) 厩舎監視体制の強化

水沢競馬場及び盛岡競馬場の警備員詰所の警備員を増員し巡回回数も増やすことで、監視体制を強化した。

また、警備員による巡回に加え、競馬組合職員及び調教師も、厩舎地区の見廻りを実施している。

(5) 業務・厩舎地区への入場規制等

ア 調教師等の厩舎関係者の厩舎・業務エリアへの入場について、従来の目視から通行許可証による確認に変更(調教師9/24、厩務員10/15)

イ 関係者駐車証について、以前に配付済みの駐車証を更新(色の変更)(11/1)

ウ 宅配業者等の厩舎地区への入場を全日禁止(10/16)

3 開催の取止め

(1) 9月22日(土)に予定していた全競走の取止め

2頭目の禁止薬物陽性馬(ウバトーバン号)が発生したことに伴い、競馬の公正を確保するため、岩手競馬に在厩(9月18日(日)現在)する競走馬全頭について、事前検査を実施することとした。

このため、検査に必要な日数を確保できる、9月23日(日)以降のレースに出走する予定の馬を対象に検査することとしたことによるもの。

(2) 11月10日(土)から11月12日(月)までに予定していた全競走の取止め

11月5日(月)に3頭目の禁止薬物陽性馬(ヒナクイックワン号)が発生したことに伴い、

再発防止策の強化を図るため。

(3) 11月17日(土)から11月19日(月)までに予定していた全競走の取止め

高橋厩舎を除く厩舎が管理する馬を対象に抽出検査を行うことを決定したが、結果の判明が当初11月16日(金)とされていたために、その結果を待って、競馬の再開を決定することが適当と判断したため(結果的には、14日(水)に結果が判明し、全頭陰性となった)。

なお、競走馬をレースに出走させるためには、申込期間等ある程度の日数を要するもの。

4 3回目の開催取り止め(期間の延長)による年間収支への影響

11月17日(土)からの開催を取り止めた場合においても、早期に再開することにより、年間の収支均衡は達成できる見込み、との見解を県競馬組合が組合議会定例会で説明した。

5 競馬の再開に向けた競馬組合による再発防止策の強化

(1) 監視カメラの増設

水沢競馬場厩舎地区に監視カメラを増設(11/10)

【比較; 2頭目の発生を受けて以降】

- ・水沢競馬場; 厩舎地区に監視カメラ(83台)を設置(11/6)
- ・盛岡競馬場; 厩舎地区に監視カメラ(65台)を設置(11/20)

(2) 警備員の24時間配置

禁止薬物陽性馬が発生した三野宮厩舎及び高橋厩舎エリアに警備員を24時間配置(11/7~)

水沢競馬場の全エリア(4箇所)の警備員詰所に警備員を24時間配置(11/12~)

【比較; 2頭目の発生を受けて以降】

- ・水沢競馬場; 警備員の増員, 巡回回数増強
- ・盛岡競馬場; 警備員の増員, 巡回回数増強

(3) 水沢・盛岡競馬場全厩舎の立入検査の実施

全37厩舎(水沢26厩舎, 盛岡11厩舎)に立入検査を実施(11/9)し, 薬品等の管理状況等の検査を実施(全厩舎への立入検査は, 1頭目が発生した直後(8/9)にも実施)

(4) 在厩馬の抽出検査の実施

在厩馬を対象とした抽出検査の実施(前掲)

(5) 厩舎関係者による自厩舎の管理体制の構築

ア 無人の時間帯を無くし, 24時間体制による馬や施設等の徹底管理(11/12~)

イ 調教師による厩舎見回りについて, 週3回を毎日2回に増強(11/11~)

ウ 厩舎の施設徹底(夜間等)(11/12~)

エ 競走馬1頭ごとの飼養管理簿や厩舎来訪者記録簿の記入(11/12~)

(6) 水沢競馬場の管理体制の強化

競馬組合職員等の増員を図るなど, 水沢競馬場の施設等の管理体制を強化(11月中旬)

6 競馬の再開

(1) 監視・警備体制等の強化

監視カメラの本格稼働, 警備員の24時間配置, 厩舎関係者による自厩舎の管理体制の構築等

(2) 出走予定馬の全頭検査

水沢競馬場在厩馬のうち, 11月24日(土)以降の出走予定馬全頭に係る禁止薬物の事前検査を実施する(陰性となった競走馬のみを出走させる)ことにより, 競馬の公正を確保

(3) 高橋厩舎管理馬の出走自粛等

高橋厩舎管理馬の31年度通常開催終了(1月7日)までの出走自粛, 高橋厩舎及び周辺厩舎の飼料及び寝藁の廃棄, 厩舎内の清掃, 飼葉桶の洗浄等の実施